

伊吹地先で土砂災害発生

早期復旧と安心・安全を

土砂災害の発生

7月1日午前10時前、局地的な大雨の影響により、伊吹地先で土砂が流出し、付近の住宅や道路に土砂が流れ込む被害が発生しました。災害発生を受けて市は災害対策本部を設置し、「警戒レベル5緊急安全確保」を午前11時に発出しました。避難の呼びかけとともに、伊吹小学校に広域避難所を開設し、一時最大43人の方が避難を余儀なくされました。

被害の概要

今回の災害では、幸いにもケガ人や行方不明者等の人的被害はありませんでしたが、床上にまで土砂が流入し

た住宅が2軒、床下に土砂流入が2軒と、住宅への被害が発生しました。また、集落内にも土砂が流れ込んだ影響で、道路の一部通行止めが続き、農業用水路にも土砂等が流入しました。

復旧に向けて

市は、二次避難所として民宿を確保したほか、保健師による避難所巡回や、被災家屋のごみ回収等被災者支援を行いました。また、発災直後から集落内の道路の土砂撤去作業を開始しました。

さらに、応急の被害防止対策として、砂防えん堤内にも溜まった土砂の撤

去を進めるとともに、住宅への土砂流入を防ぐため、被災現場近くに大型土のうを設置しました。7月7日には、地元自治会や消防団、市職員等およそ200人が集落内に入り、重機では取り切れない狭い水路等の土砂やごみを手作業で撤去しました。

被災家屋への対応としては、現地調査を実施し被害程度の判定を行い、罹災証明書を発行しました。

今回の災害においては、多くの企業・団体・個人様からあたたかいご支援・協力をいただいております。心より感謝を申し上げます。今後は、被災された方々が安心して生活できるよう、抜本的な対策にも取り組んで参ります。



発災直後①



発災直後②



発災直後③



道路の土砂撤去



砂防えん堤の土砂撤去



土砂流入防止大型土のう



集落内の土砂撤去①



集落内の土砂撤去②

市長コラム 市政言

「全力で災害対策と被災者支援を進めます」

令和6年7月1日に、米原市伊吹地先において土砂災害が発生しました。被災された全ての方にお見舞い申し上げますとともに、発災直後から、避難所運営、物資の供給、土砂撤去作業などに御尽力いただいている自治会の皆様、消防団、事業者等の多くの皆様に感謝申し上げます。

土石流が住宅、道路、河川を襲い、周辺地域の日常を一変させました。再びこのような災害が起きないように、危険性を一つでも取り除き、強固な安全対策を進め、被災地域の生活再建に向け、全力を尽くしてまいります。

7月4日には、三日月知事に対し、①既設砂防えん堤の早急な土砂撤去と恒久的な土石流等監視システムの設置、②土砂災害を長期的に防ぐため、新たな砂防えん堤の早期完成、③被災した住宅の再建に対する財政支援などを緊急要望いたしました。引き続き、国や県はもとより、関係機関と連携し、復旧に向けて取り組んでまいります。

異常気象が日常化した今日、災害はいつ起こるか分からない事を市民の一人ひとりが認識し、防災ハザードマップで住んでいる地域の災害リスクの確認や、地域の防災訓練への積極的な参加など、日頃からの災害への備えをお願いします。

米原市長 車尾道雄



7月4日県知事へ緊急要望



7月7日県知事と現地視察の様子

ふるさと納税災害支援 寄付金を受付しています

いち早く災害復旧を進めるため、ふるさと納税を通じた災害支援の募集を開始しました。頂いた寄付金は、道路の復旧、土砂や倒木の撤去費等災害に関する費用として活用させていただきます。



◀ふるさと納税災害支援
(ふるさとチョイス)



今一度、お住まいの地域の 安全確認を！

災害はいつ発生するか分かりません。今一度、お住まいの地域が「土砂災害警戒区域」や「洪水浸水想定区域」かどうかを防災ハザードマップでご確認いただき、普段から災害への備えをお願いします。



▲防災ハザードマップ
はこちらからご覧ください



7月15日にも 大雨により土砂流出の被害

7月15日夜間にも、大雨により伊吹地先の集落内で土砂流出の被害が再び発生しました。市は直ちに現地対策本部を設置し、15日深夜のうちに、住宅に被害が生じないように応急対策を行うとともに、周辺の住宅や道路に土のうを設置しました。

